

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3471300214		
法人名	社会福祉法人 若葉		
事業所名	高齢者グループホーム「潮の香」		
所在地	広島県尾道市因島中庄町字油屋新開4804		
自己評価作成日	平成22年12月25	評価結果市町村受理日	平成23年4月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.hiroshima-fukushi.net/kohyo/index.html">http://www.hiroshima-fukushi.net/kohyo/index.html</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 あしすと		
所在地	福山市三吉町南1丁目11-31-201		
訪問調査日	平成23年2月1日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

季節を感じる行事食(季節の旬の食材を使い、利用者さんが昔食べ慣れた食事の提供。) 季節を感じる外出支援  
 潮の香の大きな行事としては(春は春を迎える会、花見、夏は夏祭り 秋は日帰り旅行、敬老会、運動会、月見会 冬は忘年会、クリスマス会、おせち作り)を開催して利用者さんに食事、行事両方から季節を感じていただけるようにしている。同施設内のデイサービスでの体操や行事にも積極的に参加している。

小学校や量販店、商店などがあり利便性が良く、同法人の複合施設内のデイサービスとの交流を積極的に行くと共に外出などの楽しみごとの支援を多く持ち、気分転換や五感刺激を図る取り組みをされ、張りのある生活ができる様努めている。全職員が一人ひとりの生活歴を把握し個々に合った細やかな対応がされている。また、楽しみである食に関して利用者の希望を取り入れた献立となる場合もあり、食材の買い物も一緒に行き、常に利用者本位の生活ができるよう取組まれ、利用者、施設長、管理者、職員が一つの家族のような思いで一人ひとりに寄り添い会話を楽しみながら、明るく笑顔の絶えない事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	グループホーム独自の倫理要項を作成し、玄関、台所に掲示、または法人の理念を玄関に掲示している。 。研修会等で唱和したり、話し合っで職員同士が意識統一をし実践している。	地域密着型として独自に作り上げた理念(目標)を見えやすい場所に掲示し、研修会で唱和し、意識付けをしながら実践に繋げている。	
(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事に積極的に参加することで関係を作り、地域の一員として交流している。	町内会に加入し、地域の一員として行事に参加し顔見知りの関係を築くよう取り組まれている。また、近隣の理美容院を利用し交流を深めている。	
	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	職員が自分の地域の人や家族等に話しをさせてもらい、社会福祉法人若葉にはいろんな人材、職種、事業所があるので困った時には相談に来てくださいと言っている。		
(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で出た意見を参考にしてサービスの向上を図っている。	運営推進会議規約を作成し、定期的開催され、家族、利用者代表、区長、民生、地域住民、包括支援センター、等の参加により状況報告を行い、それぞれの方からの助言などを得、サービスの向上に繋げている。	
(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	電話連絡でなく、なるべく市役所に直接出向くようにしています。	認定更新時の際に事業所の実情や困難事例等について相談しアドバイスや情報提供を得ている。担当者と顔なじみの関係が出来てきているため、何でも相談でき連携が取れている。	
(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修等に参加している。参加できていない職員にも会議、連絡帳を使用し職員間で徹底している。	法人全体の研修に参加したり、事業所内でも勉強会をし、禁止となる具体的な行為について全職員に周知理解している。玄関の施錠を含め身体拘束はしていない。不穏な場合は見守りで対応している。	
	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内研修にて学習の機会を設けたり、会議などで話し合いの場を設けている。		

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人の研修会や法人内の他事業所の職員と連携をとれるようにしている。		
	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には契約書について説明を行い、一度持って帰ってもらいご自宅でもじっくり読んで頂く様に努めている。		
(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	生活相談員、苦情相談員を配置し、利用者さんからの要望があった際には大きさに関わらず会議にて情報を流し(必要に応じて匿名にて)改善に努める	訪問時や事業所の行事等への参加の際に話し合う機会を設け意見や要望等聞くようになっている。また、アンケートも取り、それらの中の意見や要望については、ミーティングで検討し対応すると共に運営に反映させている。	
(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	第2火曜日に運営会議を行い、行事や購入物、運営方針の話し合いを行なっている。また第4火曜日にはケア会議を行い利用者さんのケアに関する事項の話し合いを行なっている。	ケア会議の中や提案用のノートを作りそれに意見や提案などを書き込んでもらったり、日々の業務でも気づきがあればその都度聞くようにし、会議で検討し、反映させている。	
	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	夜勤手当の見直し。処遇改善手当。職員が働きやすい労働条件。		
	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月法人内学習会を開催している。また必要に応じ法人に届いている研修会の案内の情報を流し、参加できるよう調整している。		
	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	因島4事業所のグループホームの職員が3か月に1度会議を開催している。		

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	主治医や担当ケアマネなどと一緒に話しをする機会を設ける。また、それ以外に相談があった際には秘密保持(必要時応じ利用者さんと管理者とケアマネのみ)し、対応している。		
	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	主治医や担当ケアマネなどと一緒に話しをする機会を設ける。また、それ以外に相談があった際には秘密保持(必要時応じ家族と管理者とケアマネのみ)し、対応している。		
	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要に応じ、利用者さんに必要とされるサービス事業者、管理者、計画作成者、職員の話し合いの場を設けている。		
	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として尊敬し、ことば使いも配慮し、経験を生かせるような支援をし信頼関係を築く。		
	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者さんを中心とした、支援内容等、細かな変化、情報を伝え、家族との関係を深める。		
(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	帰宅支援や地域行事への参加への対応を柔軟に行なえるように心がけている。	家族、親せきを含め親しい方に気軽に訪問してもらえるような雰囲気づくりに努めている。昔、生活していた場所のお宮へ初詣に行かれたり、住んでいた家の周りをドライブしたり関係継続の支援に努めている。	
	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者さん同士がよい関係を保てるように日々の中や会議内にて話し合いを設けている。		

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
	○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談に柔軟に対応している。		
(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会議などで「本人の思い」を「本人の言葉」で情報を流し把握、検討している。	日々の会話や入浴の時などに聞き取るようにしている。困難な場合は顔の表情から汲み取り、検討し個々に対応している。	
	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者さんやご家族と話すことによって過去の生活が見え生活歴を作成し、新しい情報があれば追加していく。		
	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケア会議での情報把握。利用者さんに心身の状況は変化があった際には、各利用者さん連絡ノートを作っているためより詳しく状況を把握できるように努めている。		
(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成者を主とし、各利用者さんに1名ずつ担当者や配置、各担当者が中心となり、ケア会議などで本人の状況やケアについて話をしている。またその際に本人や家族からの要望を盛り込むようにしている。	情報提供や本人、家族の意向を基に、担当者会議をケア会議で検討すると共にミーティングの中で職員の意見を取り入れ作成している。月1回モニタリングを行い状況に応じ、見直しをされている。	
	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌、ケース記録等、連絡帳に気付き、変化、ケア内容も記録し、介護計画者にも充分情報を伝え、見直しに反映させている。		
	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	以前知り合いがいるからデイサービスに行きたいと言われ週2回デイサービスを利用するケースがあり柔軟に対応している。		

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	主に地域の保育所との連携をとり、遊びに行ったり、お手紙を頂いたりしている。(芋パーティー、クリスマス会に参加)		
(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	終末期において家族、主治医、事業者との話し合い、対応を詰めている所。また、通常時においても家族の希望を聞き、家族、主治医、事業者の連携も持っている	殆どの利用者がかかりつけ医となっている。週1回の往診もある。通院には同行支援をし状況把握に努めている。緊急時もかかりつけ医の対応となっていて、夜間対応は協力医療機関での体制ができています。	
	○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月、金曜日に1時間、看護職員(併設の高齢者ディーサービス介護勤務)のバイタルチェックを受け、情報交換アドバイスを頂く。(その他の日は潮の香の職員が毎日バイタルチェックをする体制を作っている。)		
	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院前～中～後にかけて入院期間との経過や調整を行い、退院日時が決まればスムーズに受け入れられるように病院関係者と調整を行う。入院中の経過や退院時の情報は連絡ノートや会議の際職員へ連絡する。		
(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期の指針は家族に説明はしており、重度化、終末期は本人、家族、主治医等で話し合いを行っている。また困難なケースについては地域包括支援センターに相談している。	指針を作成し、説明もされている。状態変化によりその都度、事業所として出来る事出来ない事の説明や家族の意向を踏まえ医師の意見を聞き職員で話し合い方針を共有している。すでに体験もされ、家族、主治医、職員等で連携を密にし対応された。	
	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当や初期手当等マニュアルもあり、勉強会は開催しているが定期的な訓練はしていない。		
(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は年2回。総合支援センター全体で行なわれている。潮の香でも年2回開催	避難訓練は年2回実施し、地域の方の参加もあり協力体制ができています。	

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者さんを人生の先輩、家族と思って声掛けをしている。	尊厳を大切に言葉かけをするよう職員一人ひとりが心掛けている。研修もされている。記録等についても責任ある取り扱いを徹底している。	
	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	状況に応じ口頭、文章(ポスター)などを使い分けている。自己決定を求める際にはなるべく時間をかけて行なうようにしている。		
	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の出勤者の範囲内で対応できること(外出等)を行なっている。またそれ以外にも、緊急時やあらかじめ分かっている動きに関しては調整、または臨時の出勤を行い対応している。		
	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	行きなれた理美容室へ行けることを説明している。(実際には「近いほうが楽」などの理由で行きつけの店にいかれているのは2,3名)		
(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日により個人が好きなものを取り入れたり、買物と一緒にいかれた際に利用者さんの希望により献立が変更されるなど、柔軟に対応している。調理の準備や片付けも可能な方には一緒に行なう。	流し台が2か所あり使いやすくなっている。力量により、下ごしらえや後かたづけ等職員と共にされている。食材の買い出しも一緒にされその食材の話をするがの楽しい食事時間となっている。	
	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事での水分補給が少ない方には食後の一杯をお出しするなどして対応している。またその情報をワークシートや連絡ノートに記入している。		
	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食前にうがい実施。食後は口腔ケアの声掛け		

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者さんの排泄パターンを把握し少し早めに声掛けをしている。リハビリパンツ等を使用している人にも声掛けをしてといて誘導を行っている。	一人ひとりの排泄パターンを作り、個々に合った声かけでトイレ誘導をされている。昼間は出来るだけ布パンツを利用し排泄の自立支援に努めている。	
	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の際には連絡ノートに記入し、水分補給や頓服薬の服用、入浴時のマッサージを行なっている。		
(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴時間は14:30～17:30ごろまでと一応決めているが、希望や失禁対応などに応じ柔軟に対応している。	時間帯は一応決められているが、希望により、いつでも入浴できる体制ができている。また、毎日でも対応できる。拒否の場合はタイミングや声かけに工夫をし清潔保持に努めている。	
	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人の休息や睡眠を妨げないようにその他の利用者さんへの対応を心掛けている。		
	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	通院時に増えた薬は連絡ノートにて職員に連絡。副作用などがある際には顔色に注意するようになどの情報を流している。		
	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴を作成し、日々の生活や会話に生かせるようにしている。また、その会話などから新たに情報をえた際にはそのことを会議などで共有している。		
(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	突発的な外出にも、他の利用者さんへ不利益がない様に対応して。事前に分かっている外出に関してはあらかじめ勤務表で調整し、職員で対応している。	季節ごとの外出やカラオケ、外食、買い物、散歩など、その時の希望により出来るだけ対応し気分転換をしてもらっている。夏には海を見にお弁当を持って行かれた事もある。	

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の管理については制限はない。必要に応じ家族から財布の中身をお聞きしたり、送金に関して情報を頂いたりして、金銭トラブルのないように努めている。		
	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話などの制限はなし。電話や手紙に関しても一部手伝うことや投函などを支援している。		
(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	展示物や掲示物は季節に応じ変更している。	玄関やリビングには季節のお花が生けられ、飾り付けも四季に応じたものが置かれている。また、ご飯の炊ける匂いや料理を作る音など五感刺激となり家庭的で落ち着いた過ごせる雰囲気となっている。	
	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング、やテラスに椅子を設置し、好きな場所で過ごせるようにしている。		
(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室で使用している家具は使い慣れた物を搬入し、使用を促している。安全の範囲で自由に使ってもらっている。	思いでの物や使い慣れた家具などを持ち込まれ、自分らしく配置され、居心地良く過ごされている。	
	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室には手すりををつけている。トイレの位置等も分かりやすくしている。扉の角にはクッションを張っている。		

## 目標達成計画

作成日:平成23年4月30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		非常災害時の対応、訓練等の計画実施、報告ができていない	非常災害時の対応、訓練を行う	①防災対策研修に参加する ②夜間想定、消防訓練計画報告を行う ③マニュアル見直し会議で検討する	1年
2		家族との面会や連絡等の記録が随時行われていない	家族等の面会や連絡の記録をしっかり行う	①日頃から利用者家族との信頼関係を図る ②記録のとり方を工夫し明確に記入していく	6カ月
3		感染症予防の研修、実施記録がされていない	感染症予防の研修、実施記録を行う	①感染症予防の研修に参加する ②職員会議でマニュアル見直し、検討を行う	1年
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。